

令和元年度

授業シラバス・年間指導計画

家庭

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
家庭科	家庭基礎	2	普通・理数科	2
履修形態	授業形態		指導者名	
全	一斉授業		家庭科	

教科書（発行所）	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）
教科書以外の教材（発行所）	家庭基礎 学習ノート（東京書籍）

目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。											
学習のねらい	1. 生活のしくみとその現実を家庭内にとどまることなく、地域や社会、歴史的な変化を含めた総合的なとらえ方ができるようとする。 2. 生活の身近な課題から問題意識を持って学習に取り組む態度を養う。 3. 実践的な学習を、実際の生活の場で生かせるようとする。 4. 自分の人生や、共に生きる人々との生活が、よりよいものとなるための真摯な努力ができるようとする。											
定期考査	出題方針	教科書・学習ノート・授業プリントを中心に出題する。										
	範囲（予定）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">第1回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>第1章 自分らしい人生をつくる 第2章 子どもと共に育つ 第3章 高齢社会を生きる</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>第4章 共に生き、共に支える 第5章 食生活をつくる 第6章 衣生活をつくる</td> </tr> <tr> <td>年度末考査</td> <td>第7章 住生活をつくる 第8章 経済生活を営む 第9章 生活を設計する</td> </tr> </table>	第1回		第2回	第1章 自分らしい人生をつくる 第2章 子どもと共に育つ 第3章 高齢社会を生きる	第3回		第4回	第4章 共に生き、共に支える 第5章 食生活をつくる 第6章 衣生活をつくる	年度末考査	第7章 住生活をつくる 第8章 経済生活を営む 第9章 生活を設計する
第1回												
第2回	第1章 自分らしい人生をつくる 第2章 子どもと共に育つ 第3章 高齢社会を生きる											
第3回												
第4回	第4章 共に生き、共に支える 第5章 食生活をつくる 第6章 衣生活をつくる											
年度末考査	第7章 住生活をつくる 第8章 経済生活を営む 第9章 生活を設計する											
評価の観点 評価の方法	◎評価の観点は、家庭生活全般に関する関心・意欲・態度、思考・判断、技能・表現、知識・理解の4項目とする。 ◎具体的な評価は、考查・授業プリントの記入内容や提出状況・授業態度・実習態度を適切に総合的に評価する。また実習においては必要に応じて自己評価も取り入れる。											
先生からアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	授業に集中することが大切である。多くの単元を短期間に学習するので、毎時間しっかりと集中して取り組んでほしい。 また、調理実習・高齢者疑似体験など体験学習が多いため、事前の心構えや安全に関する注意事項を正しく理解して実行することが大切である。											

年間授業計画					
通期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前期	4		自分らしい人生をつくる ①生涯発達の視点 ②青年期の課題 ③目標を持って生きる ④人生をつくる ⑤家族・家庭を見つめる ⑥これからの家庭生活と社会子どもと共に育つ ①子どもの育つ力を知る ②親として共に育つ ③これからの保育環境	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしい生き方について考え、しっかりととした価値観の確立が大切であることを理解する</li> <li>・家族の分類や機能の変化など、家族に関する社会問題についての理解を深め、男女が協力して家庭を築くことの意義と、家族の家庭生活のあり方について考える。</li> </ul>
	5		高齢社会を生きる ①高齢期を理解する ②高齢者の心身の特徴 ③これからの高齢社会	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の生活を理解し、親の役割と子育て支援について学び、子どもを育てる生活の楽しみとその責任について考える。</li> <li>・子どもを取り巻く社会変化の現状を知り、子育てを楽しめる家庭や社会の実現について考える。</li> </ul>
	6		共に生き、共に支える 衣生活をつくる ①被服の役割を考える ②被服入手する③被服を管理する ④これからの衣生活 ⑤布を用いた生活の知恵	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会の現状と課題、高齢期の心身の変化や特徴について理解する。</li> <li>・高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。</li> <li>・福祉や社会的支援の必要性を知り、ボランティア活動等への参加につなげる。</li> </ul>
	7		食生活をつくる ①食生活について考える ②食事と栄養・食品 ③食生活の安全と衛生 ④生涯の健康を見通した食事計画 ⑤調理の基礎 ⑥これからの食生活	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の機能と着装、被服材料、被服管理などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、衣生活を健康で快適に営むことができるようになる。</li> <li>・安全性や衣生活に関する環境問題の現状を把握し健康で安全な衣生活が営めるようになる。</li> </ul>
	8		住生活をつくる ①住生活について考える ②住生活の計画と選択 ③これからの住生活	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活を見直し、よい食習慣を身につけることの大切さを理解する。</li> <li>・食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。</li> <li>・食事摂取基準と食品群別摂取量の目安を知り、家族の食事の献立作成ができるようになる。</li> <li>・調理実験・実習を通して、基本的な調理操作を身につける。</li> <li>・食生活の変化や問題点を知り、環境や食料自給率等の問題を考える。</li> </ul>
	9		経済生活を営む ①職業生活を設計する ②計画的に使う ③国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ④現代の消費社会 ⑤これからの消費生活を環境生活を設計する	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の機能や間取りの基礎知識を学ぶ。</li> <li>・安全な住まいの工夫ができるようになる。</li> <li>・住宅問題や環境問題について知り、持続可能な住生活とは何かを考える。</li> </ul>
	10		総 時 間 数	78	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費社会の現状について知り、消費者としての意志決定のあり方を考える。</li> <li>・様々な消費者問題から賢い消費者としてどう行動すべきかを考える。</li> <li>・持続可能な社会の取り組みを知り、自分に実行できることを考える。</li> <li>・自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立てる。</li> </ul>
	11				
	12				
	1				
	2				